

第65回抗がん剤研修会参加者アンケート集計結果

開催日時： 2012年9月25日(火) 19：00～21：20

開催場所： 大宮法科大学院大学ビル 2階講堂

講 演： 「緩和医療に求められる薬剤師のかかわり」
さいたま市立病院 副院長 窪地 淳 先生

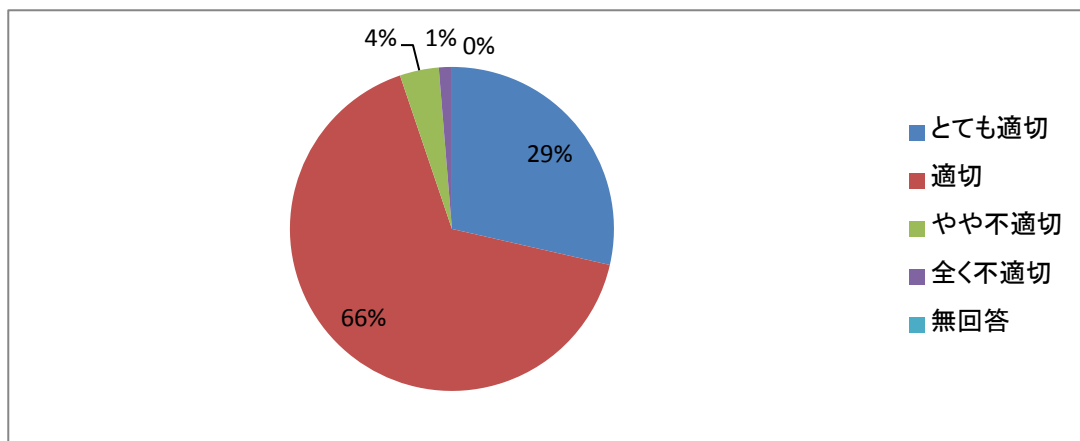
総合評点
3.1 (4件尺度)

研修者数	アンケート提出数	アンケート回収率	アンケート意見あり(枚)
83	79	95%	34

評価記入---4. とても適切 3. 適切 2. やや不適切 1. 全く不適切

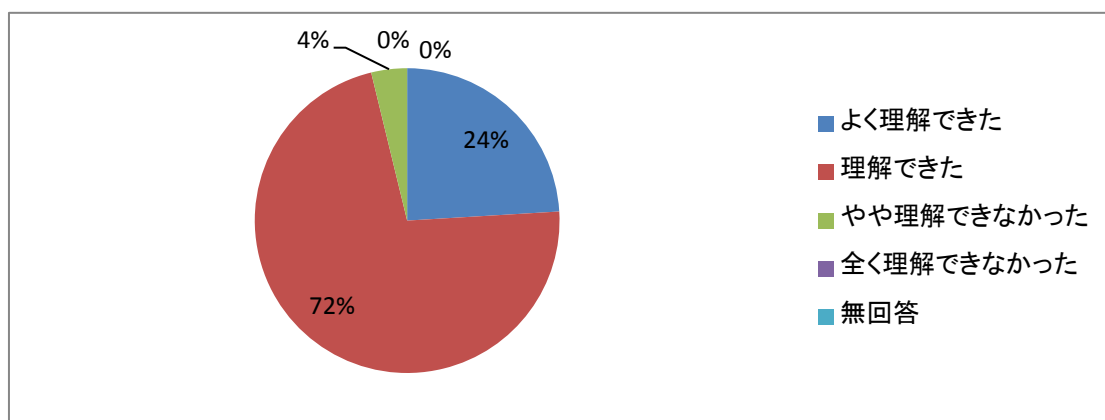
1. 講演テーマについて

1	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	22	51	3	1	0	3.2



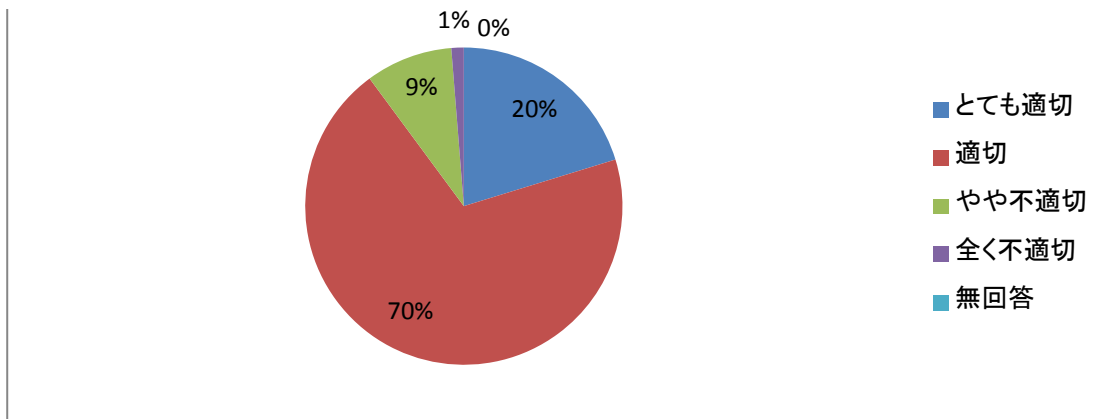
2. 講演内容について

2	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	19	57	3	0	0	3.2



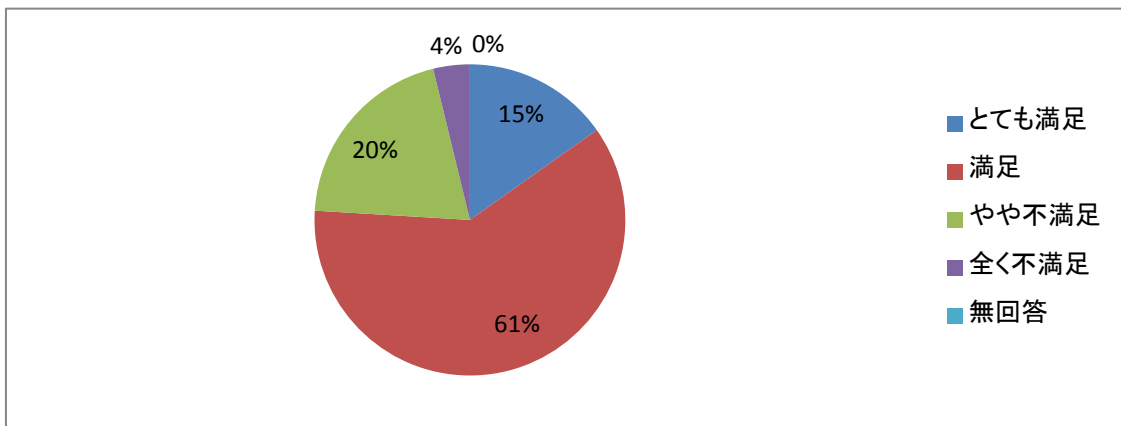
3. 講演資料について

3	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	16	55	7	1	0	3.1



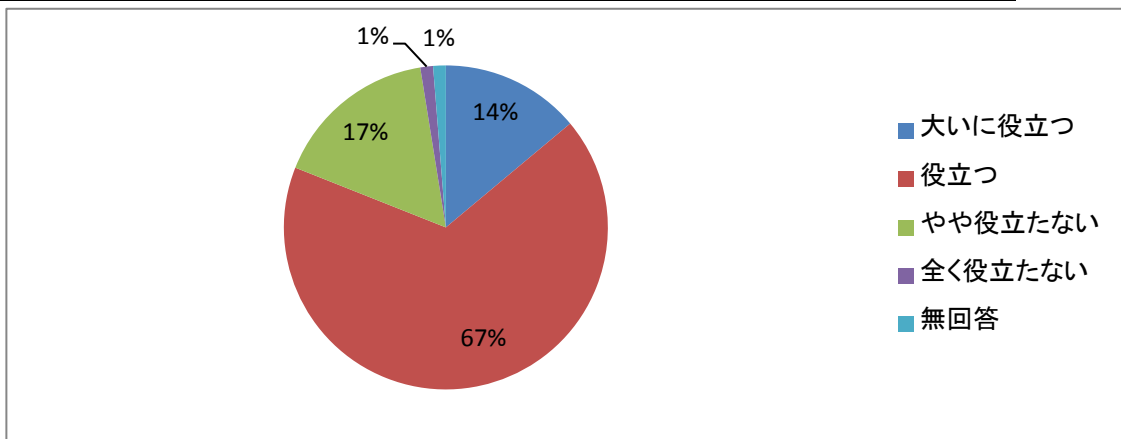
4. 本研修会の印象について

4	とても満足	満足	やや不満足	全く不満足	無回答	平均
	12	48	16	3	0	2.9



5. 本研修会で学び今後の業務に役立つか

5	大いに役立つ	役立つ	やや役立たない	全く役立たない	無回答	平均
	11	53	13	1	1	2.9



アンケート意見 (34枚)

1. 講演テーマについて

テーマと内容があまり合っていなかった	1
最後の方しか薬剤師のかかわりについて説明してない気がする	1

2. 講演内容について

特にオピオイドの使用についての話がなかった	1
薬剤師としての関わり部分が少なかった。がん専門薬剤師の関わり等の例も聞きたかった	1

3. 講演資料について

カラー刷りで見やすかった	3
講演に添った資料でよかった	1
発表スライドの為、かぶって見えない箇所が何枚かあった	2

内容は全て演者が読み上げていた	1
4. 本研修会の印象について	
とても分かりやすく、聞きやすい講演だった	2
もっと薬剤の話をしてほしかった	1
実際の取り組みについてもう少し知りたかった	1
だいたい知っている内容だった	1
一般的な緩和ケアの話であったので薬剤師向けの具体的な治療、薬剤に関する話を加えて欲しかった	1
講演テーマから期待した内容ではなかった	1
5. 本研修会で学び今後の業務に役立つか	
非常に総論的でこれを実務に落とし込めるようになるには時間がかかりそう	1
一般的な内容や行政の話しがメインであったため、日常の薬物療法には役立たないと思う	1
勤務先で遭遇しないため役立たない	1
6. 今後取り上げてほしいテーマ	
血液腫瘍	1
内服抗がん剤	1
がん患者における画像の見かた	1
がん関連の論文を作成するための手引き、手順について	1
がんに伴う合併症など	1
外来化学療法における緩和ケアについて	1
緩和ケアの症例	1
緩和に関する薬剤師向けの治療、薬剤に関する講演	1
緩和ケアチームでの薬剤師の活動、役割	2
薬物の治療	2
薬薬連携、地域連携	1
薬理作用を患者さんに分かりやすく説明する方法	1
外来患者指導	1
糖尿病患者における服薬指導、インスリン指導の注意点	1
感染症治療における抗生剤の選択	1
薬剤師のためのフィジカルアセスメント	1
鎮痛補助薬の使い方	1
麻薬使用時の症例検討と麻薬の用量選定時のアドバイスについて	1
オピオイドや鎮痛補助薬の具体的な使い分け、用量調節	1
症例を用いた疼痛コントロールの説明	1
分子標的治療薬に関する総論	1
栄養について	1
曝露対策	1
在宅ケア	1
7. 本研修会で気づいたこと・質問・希望	
目新しい除痛スキルの内容は少なかったが、がん対策の戦略や我が国の現状について学ぶ事ができた。薬剤師も薬物療法を用いた除痛スキルだけでなく、コミュニケーションや緩和ケアの全体を考え勉強していかなければいけないと感じた	1
今回の講演内容は緩和の全体像の解説などが多かったため、もっと具体的な日常業務や病院内での薬剤師のかかわり、役割を紹介してほしいかった	1
どのようにしたら疼痛コントロールできるかなど、実践的な内容を盛り込んでほしいかった	1
臨床的な例の話を知りたかった	1
学会員でないと緩和の単位がもらえなかった	1